

帝京大学女性医師・研究者 支援センターNEWS

Teikyo University Support Center for Women Physicians and Researchers



3 学部共通科目「医療界のワーク・ライフ学」が開講 (板橋キャンパス)

医学部・薬学部・医療技術学部 1年生を対象とした共通選択科目「医療界のワーク・ライフ学」が今年も開講しました。講義は主に男女共同参画推進委員が担当しており、金子希代子教授(薬学部臨床分析学研究室、女性医師・研究者支援センター室長)、村上文教授(法学部法律学科)、大滝恭弘教授(医療共通教育研究センター)、安達三美教授(医学部生化学講座)、楯直子教授(薬学部生体分子化学研究室)、中村英里助手(薬学実習推進研究センター)、新井直子准教授(医療技術学部看護学科)、関玲子講師(医療技術学部臨床検査学科)が、自身の専門分野やキャリアパスについて紹介するとともに、それぞれの立場・専門家の視点から医療人材の多職種連携と医療界の男女共同参画を伝えるオムニバス授業となっています。少子高齢化による労働人口減少が進む日本の状況や国の動き、法律の視点からみたジェンダー問題、医療界における男女共同参画の実情を多角的に捉え、近い将来医療人として社会に出ていく学生が、自分の人生をキャリアとライフデザインの視点から見つめる機会を提供しています。



帝京大学男女共同参画推進委員会・ ワーキンググループの取組

帝京大学男女共同参画推進委員会は、女性医師・研究者を中心に「研究・仕事」と「家庭」を両立しやすい環境の整備や研究力向上のための各種施策や企画について女性医師・研究者支援センターと連携を図りながら協議・実施を行う組織です。各学部から推薦を受けた、あるいは男女共同参画に関する豊富な経験や知識を持つ教員と関係事務により構成されています。2018年度は全6回の委員会を開催し、「意識改革」「環境整備」「教育・研究力向上」の専門分野別ワーキンググループ(WG)に分かれて検討を行いました。WGでは、現在進行中の制度・企画のさらなる充実や新規企画の検討を行っています。この活動からスタートした取組には「男女共同参画」をテーマに取り入れたFDセミナーの実施や、「男女協働・多職種連携」をテーマとする学部生対象キャリア教育の実施、医学部で導入を開始した、先輩教員が育児等の相談にのる「ワークライフバランス・コンシェルジュ教員制度」などがあり、WGの1年間の活動結果は毎年度教授会でお知らせしています。なお2018年度からは宇都宮キャンパスにも男女共同参画推進委員会が組織され、宇都宮キャンパスに所属する研究者のニーズに特化した活動がスタートしています。

2019年度男女共同参画推進委員

(敬称略・学部順)

冲永 寛子	常務理事・副学長(委員長)
金子 希代子	薬学部臨床分析学研究室 教授 (副委員長)
多田 弥生	医学部皮膚科学講座 教授
安達 三美	医学部生化学講座 教授
堂後 京子	医学部形成・口腔顎顔面外科学講座 講師
海野 雄加	医学部微生物学講座 助教
楯 直子	薬学部生体分子化学研究室 教授
藤原 優子	薬学部物理薬剤学研究室 助教
大谷 浩樹	医療技術学部診療放射線学科 教授
新井 直子	医療技術学部看護学科 准教授
池田 結佳	医療技術学部視能矯正学科 准教授
関 玲子	医療技術学部臨床検査学科 講師
村上 文	法学部法律学科 教授
高山 優子	理工学部バイオサイエンス学科 准教授
井上 まり子	公衆衛生学研究科 准教授
中西 穂高	知的財産センター 教授
大滝 恭弘	医療共通教育研究センター 教授
土谷 明子	医学部附属病院看護部長
川崎 義隆	医学部附属病院 ME 部 係長
小貫 裕志	本部事務長
渡辺 靖	本部総務課長
児玉 雅央	本部人事課長
稲垣 宏治	医学部附属病院総務課長
松岡 みどり	福岡キャンパス事務部総務課長補佐
小松 真奈美	板橋キャンパス事務部総務課係長

活動報告

日本痛風・核酸代謝学会にて男女共同参画セミナーを実施

金子希代子室長（薬学部臨床分析学研究室教授）が大会長を務めた第52回日本痛風・核酸代謝学会において「男女共同参画に向けて～帝京大学の取組～」と題したランチョン・セミナーを実施しました。登壇した多田弥生教授（医学部皮膚科学講座）からは乾癬と尿酸の関連についての話に続き、若手女性医師がやりがいを持って働き続けられる環境構築に向けた取組について報告がありました。続いて登壇した柴田茂教授（医学部内科学講座）は、腎臓内科・腎センターで実施している「多職種カンファレンス」について紹介の後、慢性腎臓病と尿酸に関する最新の研究動向について報告がありました。座長の内田俊也教授（帝京平成大学）による軽快なリードにより、参加者からは専門分野に関する質問の他、各講座・診療科における女性医師支援について質問・意見が多く出るなど、活発ながらも和やかな雰囲気の中セミナーは進行しました。



ハラスメントを考える男女共同参画セミナーを開催

宇都宮キャンパスでは、ハラスメント対策やワークライフバランス問題に詳しい渡部卓教授（帝京平成大学）をお招きし、ハラスメントについて考えるセミナーを開催しました。ハラスメントをする側・される側の考え方・感じ方を中心にハラスメントの実態を見ることで、どういった状況でハラスメントは生じやすいのか、注意することや心がけておくことなどを学びました。終了後はセミナーを主催した宇都宮男女共同参画推進委員会を中心に有志による懇談会が行われました。セミナーの様子は学内イントラネット LMS「教職員のひろば」よりご覧いただけます。

JST 主催「理系で広がる私の未来」ブース出演

日本科学技術振興機構（JST）が主催する「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来 2019」に参加しました。これは理系における女性比率向上のすそ野拡大の一環として女子中高生とその保護者・教員を対象に毎年開催されているイベントで、本学からは理工学部バイオサイエンス学科准教授の高山優子先生・平澤孝枝先生のほか、同学部航空宇宙学科ヘリパイロットコースとバイオサイエンス学科の女子学生がブースに立ち、帝京大学の魅力や志望動機、大学での学びや学生生活など「生の声」を来場した皆さんにお伝えしました。

2018年度 支援制度利用状況報告

ベビーシッター割引券 発行事業	利用者数	4名（医学部2、文学部2）
	利用枚数（のべ）	発行枚数64枚、うち利用数50枚
保育施設利用補助制度	利用者数	4名（医学部1、薬学部2、文学部1）
	利用回数（のべ）	24回
研究支援員配置制度	配置件数	15件（上期6件、下期9件）
	配置学部（のべ）	理工学部5、医学部4、薬学部2、医療技術学部1、文学部1、助産学専攻科1、学修・研究セ1

お知らせ

※詳細は女性医師・研究者支援センターホームページをご確認ください

◆保育支援制度（保育施設利用補助・ベビーシッター割引券発行事業）をご利用ください

子育てと仕事の両立支援として「保育施設利用補助制度」（教員対象）「ベビーシッター割引券発行事業」（教職員対象）を運用しています。

◆研究支援員【2019年度下期】申請期間について 下期（10月～3月）の配置申請期間は8月1日～31日です。

◆介護準備セミナーを開催します

いざという時のために今知っておくべき介護の話。介護に直面したときに離職せずスムーズに対応するためのポイントや準備、本学制度等の情報をお知らせするセミナーです（教職員対象）。

★2019年7月30日（火）16:00～17:15

◆ジャーナルクラブ

論文を読み解く力を身につけ研究力向上をめざしましょう。テーマを事前に知りたい方はセンターまでご連絡ください。（隔週木曜 16:35～）

★2019年度下期開催予定
9/19,10/3・17・31,11/14・28,12/12

◆カフェ・タイムに来ませんか

毎月8日のお昼にセンターを開放しています。一息つけるスペースとして気軽にご利用ください。テーマを決めてみんなで話し合うテーマ設定回もごございます。詳細は学内掲示板を確認ください。

★毎月8日 12:15～13:15

編集後記

今年は例年になく鬱陶しい梅雨の日が続いています。いつもはいやになるほどギリギリした夏の日差しも懐かしく感じる毎日です。毎年季節は廻りますが、今年のこの季節は人生で一度だけです。職場ではそれぞれが忙しく、一日一日があっという間に過ぎていきます。慌ただしい日々の中でワーク（仕事・研究）とライフ（家庭・自身の生き方）の両立に奮闘している時、不安に感じたり、ふと誰かに話したいと思ったらセンターにお立ち寄りください。お茶でも飲みながら、ゆっくりお話しませんか？（晴）

編集・発行

帝京大学 女性医師・研究者支援センター

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 病院棟 6F
TEL：03-3964-8456 FAX：03-3964-8457
Mail：women@med.teikyo-u.ac.jp

